

## 令和6年度（令和5年分）給与支払報告書等の作成のお願い

### 給与支払報告書（総括表）の書き方

- ① 指定番号・所在地・名称等が印字済の「会津若松市の総括表」を使用してください。独自の総括表を使用する場合も「会津若松市の総括表」を添えて提出してください。
- ② 「受給者総人員」欄には、令和6年1月1日現在において給与等の支払いをしている従業員の総人員を記入してください。
- ③ 「特別徴収（在職者）」欄には、会津若松市へ個人別明細書を提出する従業員のうち、特別徴収となる人員数を記入してください。
- ④ 「普通徴収（退職者）、普通徴収（退職者を除く）」の2つの欄には、会津若松市へ個人別明細書を提出する従業員のうち、特別徴収できない人員数を記入してください。
- ⑤ 「合計」欄には、会津若松市へ個人別明細書を提出する従業員の合計数を記入してください。
- ⑥ 「納入書送付」欄の「不要」を選択した場合は、令和6年度の特別徴収納入書は同封されませんのでご注意ください。
- ⑦ 会津若松市へ個人別明細書を提出する従業員がいない場合や、すでに廃業等をされている場合も、お手数ですが総括表にその旨を記入し返送してください。

### 普通徴収切替理由書（兼 仕切書）の書き方

特別徴収できない従業員がいる場合に使用してください。

この普通徴収切替理由書は、当面、普通徴収を認める基準（普A～普E）を示すものです。この普通徴収切替理由書の提出がない場合は、原則どおり特別徴収対象者として取り扱います。

【普通徴収を認める基準】

- A：他の事業所から特別徴収される（乙欄該当者）
- B：毎月の給与が少なく、特別徴収にできない
- C：給与の支払いが不定期
- D：事業専従者である
- E：退職者・退職予定者（令和6年5月末まで）及び休職者

- ① 普通徴収とする従業員に係る個人別明細書の摘要欄に、該当する符号（普A、普Eなど）を記入してください。
- ② 符号「普A」は、2か所以上から給与の支払いを受けているため、年末調整の対象とならなかった方で、普通徴収とする場合に記入してください。
- ③ 符号「普E」のうち、退職予定者は個人別明細書の摘要欄に退職予定日を記入してください。

### 給与支払報告書（個人別明細書）の書き方

※ 国税庁作成の「給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引き」を参照し、作成してください。

給与支払報告書の提出先は、給与の支払いを受けている従業員の令和6年1月1日現在の住民登録のある市町村となりますので、本人に住所地を確認のうえ、提出してください。

- ① 必ず「令和6年度用の個人別明細書」を使用してください。
- ② 「特別徴収分」と「普通徴収分」がわかるように、必ず「普通徴収切替理由書（兼仕切書）」で区別し、提出してください。

- ③ 給与の支払い額にかかわらず、令和5年中に給与の支払いをされた従業員全員（年の途中で退職した方や短期雇用、パート・アルバイトなどの方も含みます）の個人別明細書を作成し、提出してください。
- ④ 印字位置のズレやかすれ等がないか、提出前にもう一度確認をお願いします。

給与支払報告書（個人別明細書）の書き方

◎ 個人番号、フリガナ、生年月日を必ず記載してください。

⑥ 給与支払報告書個人別明細書

※ 区分		（受給者番号）									
支払を受ける者の住所		（個人番号） 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2									
住所		（役職名）									
氏名		（フリガナ） ワカ マツ タロウ									
氏名		若松 太郎									
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額							
給与	7,000,000	5,200,000	4,095,000	0							
② 控除対象配偶者の有無等	③ 配偶者（特別）控除の有無等	控除対象扶養親族の数の有無等	16歳未満扶養親族の数	障害者の数	非居住者である親族の数						
○ 有	○ 有	○ 有	2	5	1						
④ 社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額								
60,000	120,000	50,000	55,250								
（概要） ⑦ 普E											
（1）若松幸子（年少）											
〈前職分〉 株式会社松工業 支払金額 1,980,000円 社会保険料 195,000円 源泉徴収税額 25,000円											
⑤ 新生命保険料の金額	⑥ 旧生命保険料の金額	⑦ 介護医療保険料の金額	⑧ 新個人年金保険料の金額	⑨ 旧個人年金保険料の金額							
100,000	80,000			100,000							
住宅借入金等特別控除適用状況	居住開始年月日（1回目）	⑩ 住宅借入金等特別控除区分（1回目）	住宅借入金等特別控除区分（2回目）	住宅借入金等特別控除区分（2回目）							
1	3年1月10日	住（特特）									
住宅借入金等特別控除可能額	170,000										
⑦ 控除対象配偶者のフリガナ	ワカマツ セツコ	⑧ 配偶者の合計所得	350,000	国民年金保険料等の金額	旧長期損害保険料の金額	所得金額調整控除額					
氏名	若松 節子										
個人番号	2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3										
① 控除対象扶養親族のフリガナ	ワカマツ カズオ	⑨-① 16歳未満の扶養親族のフリガナ	ワカマツ ハルコ								
氏名	若松 和夫	氏名	若松 春子								
個人番号	3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4	個人番号	6 5 4 3 2 1 0 9 8 7 6 5								
② 控除対象扶養親族のフリガナ	ワカマツ イチロウ	⑨-② 5人目以降の16歳未満の扶養親族のフリガナ	ワカマツ ナツコ								
氏名	若松 一郎	氏名	若松 夏子								
個人番号	4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5	個人番号	7 6 5 4 3 2 1 0 9 8 7 6								
③ 控除対象扶養親族のフリガナ	ワカマツ ジロウ	⑨-③ 5人目以降の16歳未満の扶養親族のフリガナ	ワカマツ アキコ								
氏名	若松 二郎	氏名	若松 秋子								
個人番号	5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6	個人番号	8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8 7								
④ 控除対象扶養親族のフリガナ	ワカマツ フユコ	⑨-④ 5人目以降の16歳未満の扶養親族のフリガナ	ワカマツ フユコ								
氏名	若松 冬子	氏名	若松 冬子								
個人番号	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8	個人番号	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8								
⑩ 外国人	死退職者	災害者	本人が障害者等の特別その他	⑪ 中途就・退職	受給者生年月日						
				就職 退職	年 月 日	元 号	年 月 日				
				○ 5 12 3	昭和	38	1 1				
⑫ 個人番号又は法人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 （右括弧で記載してください。）										
住所（居所）又は所在地	会津若松市東栄町2番2号										
氏名又は名称	会津商事 株式会社 （電話） 0242-39-△△△△										

- 住所** 令和6年1月1日現在の住所(退職された方は、退職日現在の住所)を番地・アパート名・部屋番号まで詳細に記載します。  
※会津若松市以外の住所の方は、該当の市町村へ提出してください。
- (源泉)控除対象配偶者の有無等** 控除対象配偶者又は源泉控除対象配偶者を有する場合は、「○」を記載します。  
老人控除対象配偶者に該当する場合は、老人欄に「○」を記載します。
- 配偶者(特別)控除の額** 配偶者控除額又は配偶者特別控除額を記載します。
- 社会保険料等の額** 小規模企業共済等掛金がある場合は、上段の内書にその金額を、下段に他の社会保険料との合計額を記載します。
- 生命保険料金額の内訳** 生命保険料控除がある場合は、各保険料の支払額の内訳を記載します。
- 住宅借入金等特別控除区分** 住宅借入金等特別控除の適用がある場合、区分を次のように記載します。  
住……一般の住宅借入金等特別控除の場合(増改築を含む)  
認……認定住宅の新築等に係る住宅借入金等特別控除の場合  
増……特定増改築等住宅借入金等特別控除の場合  
震……東日本大震災によって自己の居住の用に供していた家屋が居住の用に供することができなくなった場合で、震災特例法第13条の2第1項の規定の適用を選択した場合  
当該住宅の取得や増改築が**特定取得に該当する場合には「(特)」と付記**します。特別特定取得、特例取得、特別特例取得は「(特特)」、また特例特別特例取得は「(特特特)」と付記します。
- 扶養親族等の各欄** (源泉)控除対象配偶者又は配偶者特別控除の対象となる配偶者、控除対象扶養親族及び16歳未満の扶養親族の**氏名、フリガナ及び個人番号**を記載します。  
対象者が非居住者(国内に住所がない等)である場合には、区分の欄に「○」を記載します。  
※源泉徴収票と異なり、給与支払報告書には**すべての扶養親族等について個人番号の記載が必要**です。
- 配偶者の合計所得欄** 控除対象配偶者又は配偶者特別控除の対象となる配偶者の合計所得金額を記載します。  
源泉控除対象配偶者の場合は、「所得の見積額」を記載します。
- 概要欄** 【1】控除対象扶養親族又は16歳未満の扶養親族が5人以上いる場合  
5人目以降の対象者の氏名を記載します。このとき、氏名の前には括弧書きの数字を付し、⑨-①・⑨-②欄に記載する個人番号との関係がわかるようにしてください。  
また、16歳未満に扶養親族の場合には「(年少)」、非居住者の場合には「(非居住者)」と付記してください。  
※この欄には**個人番号を記載せず⑨-①・⑨-②欄に記載**します。  
【2】普通徴収とする場合  
普通徴収切替理由書の該当する符号(普A、普E)を記載します。  
【3】他社分給与を合算して年末調整した場合  
中途就職者の前職分など、他社分の給与を合算して年末調整した場合は、給与の支払者名・支払金額・社会保険料及び源泉徴収税額を必ず記入してください。  
また、総括表の「合算して年末調整してますか?」欄の「はい」を忘れず「○」で囲んでください。  
※概要欄に前職分の給与等の記載がないと、支払金額に他社分を合算して年末調整しているかどうかの判断ができません。  
【4】控除対象配偶者を除く同一生計配偶者が障害者、特別障害者又は同居特別障害者に該当する場合は、「氏名(同配)」と記載します。
- 本人該当欄** 受給者本人が該当する欄に「○」を記載します。なお、年末調整で改正後の「寡婦」及び「ひとり親」に該当することとなった場合に「○」を記載してください。
- 中途就・退職** 中途就職又は退職の場合には、日付を記載します。  
両方に該当する場合は、両方とも「○」を付け、それぞれの年月日を2段書きで記載してください。
- 個人番号又は法人番号** **必ず記載**してください。

【注意事項】  
○給与支払報告書の訂正分を提出する場合、概要欄に「訂正分」と朱書きしてください。  
○印字の状態により文字が正確に読み取れない場合があります。印字のズレやかすれ等がないか、提出前に一度確認をお願いします。